

海鳴50号(2020. 05)

自然観察入門-V

Introduction to Nature Observation V

岩崎行伸*

TO大学海洋学部をリタイヤ後20年余が無難に経過している。海&魚と海洋環境と漁業に関して調査・研究を行ってきた。これまで、海産種として論文纏めた魚種は、太平洋・印度洋産のカツオ・キハダ・メバチ・クロマグロ・ジンベエザメ・シャチ・ツムブリと、駿河湾産では、タチウオ・イトヨリダイ・オアカムロ&魚類相等であった。ところが、海に出掛ける機会がなくなり果たして、呆け防止と自己満足のために何か、川辺の生きものの採集と観察・写真記録を趣味として来た。幸い、TO大学海洋学部内に課外活動として、水棲環境研究会（海と川の水棲環境研究会を立ちあげて、学生等とともに川辺の生きものたちの採集に参加する機会を得たこと。後には自然観察塾を始めた。

これまで、川辺の採集物は、図1 & 図2に示すゲンゴロウブナ（麻機湿地）・アブラハヤ（吉田川）・ウグイ（興津川）・オイカワ

野外観察 ; Field Watching
清流の生きものたち- I



**図 I : A : ゲンゴロウブナ (麻機湿地)、B : アブラハヤ
(吉田川)、C : ウグイ (興津川)**

Photo by Y. IWASAKI

野外観察 ; Field Watching
清流の生きものたち- II



**図2 : D : オイカワ♂ (塩田川、E : カワアナゴ (庵原川)、
F : ポウズハゼ (庵原川)**

Photo by Y. IWASAKI

(♂、塩田川)・カワアナゴ(興津川)・ボウズハゼ(庵原川)。

他には、マドジョウ・スミウキゴリ・カワムツ・シマドジョウ・アメリカザリガニ・ムクスガニ・ミナミヌマエビ・スジエビ・サワガニ(塩田川、略14種)、ヌマチチブ・マハゼ・スミウキゴリ・ミズハゼ・シロウオ・ボラ・ニホンウナギ・シマイサキ・ボウズハゼ・シマヨシノボリ・ミナミメダカ・アユカケ・テナガエビ・ヒラテテナガエビ・モクスガニ・ミゾレヌマエビ・ミナミヌマエビ・スジエビ(庵原川、略24種)、オオヨシノボリ・ルリヨシノボリ・カワヨシノボリ・シマヨシノボリ・アブラハヤ・タカハヤ・ホトケドジョウ・シマドジョウ・テナガエビ・ヤマトヌマエビ・ヒラテテナガエビ・ヌマエビ s p. モクスガニ・サワガニ・カワニナ・アカハライモリ(吉田川、略20種)、シマヒレヨシノボリ・カワヨシノボリ・タイリクバラタナゴ・モツゴ・カダヤシ・スジエビ・ミナミヌマエビ・ヌカエビ・カムルチー・アカミミガメ・ゲンゴロウブナ・ギンブナ・アメリカザリガニ(麻機湿地、略14種)

1) 謝辞

海鳴1～49号の特別投稿に対し、心よく掲載できたことに東海大学海水研OB会(海鳴)諸氏。東海大学海洋学部水棲環境研究会の学生諸君に対してお

礼申し上げます。

2) 参考資料

- 1) 淡水魚:ガイドブック(2003)、永岡書店、桜井淳史・渡辺昌和著
- 2) 2017年度:活動報告、東海大学海洋学部水棲環境研究会発行
- 3) 自然観察入門-Ⅲ-Ⅳ(2019)、東海大海洋 OB 会・海鳴48号、岩崎行伸著

3) 挿入写真

- 1) 清流の生きものたち-Ⅰ、Photo by Y. IWASAKI
-

- 2) 清流の生きものたち-Ⅱ、Photo by Y. IWASAKI
-

*会員：自然観察塾（塾長）、水棲&環境研究